

第4回 南部町地域のあり方検討委員会次第

日 時 令和8年1月26日(月)

15:00～17:00

場 所 キナルなんぶ多目的ルーム

1 開会

2 南部町地域づくりアドバイザーあいさつ

3 議事

(1) 第3回ふりかえり

(2) 今後の検討スケジュールについて

○令和7年度

- ・第4回検討委員会 「地域のあり方基本方針」(案)の策定
- ・リーダー研修会 全4回
- ・合同視察 2月22日(日) 日南町
- ・地域づくり大会 3月15日(日)

○令和8年度

- ・検討委員会：第5回～第8回：「地域のあり方基本計画」(案)の策定
(検討委員会コア会議：年4回程度)

(3) 「地域のあり方基本方針」(案)の骨子について

(4) 「地域のあり方基本方針」(案)に関するグループ協議

(5) 全体討議

(6) その他

4 連絡

5 閉会

令和7年度 南部町地域のあり方検討会スケジュール

年	時期	項目
令和7	9月29日(月)	第1回検討会 現状報告, 論点整理, 意見交換
	10月27日(月)	第2回検討会 団体紹介, 論点別意見交換
	12月1日(月)	第3回検討会 基本方針案の検討
令和8	1月26日(月)	第4回検討会 基本方針の策定

<基本方針のイメージ>

○目的

南部町における地域のあり方に関する基本方針を定める

○期間

- ・ 検討期間：令和7(2025)年度～令和8(2026)年度
- ・ 準備期間：令和9(2027)年度～令和10(2028)年度
- ・ 実行期間：令和11(2029)年度～令和20(2038)年度
(10年間)

○仕様：A4用紙6枚程度

○内容：地域の魅力と課題, ミッション, ビジョン, バリュー, ターム等

令和8年度 南部町地域のあり方検討会スケジュール

年	時期	項目
令和8	5月 日 () 下旬	第5回検討会 地域振興協議会のあり方
	7月 日 () 月上旬	第6回検討会 集落のあり方
	8月 日 () 下旬	第7回検討会 基本計画案の検討
	10月 日 () 中旬	第8回検討会 基本計画の策定

<基本計画のイメージ>

○目的

南部町における地域のあり方に関する基本計画を定める

○期間

- ・ 検討期間：令和7（2025）年度～令和8（2026）年度
 - ・ 準備期間：令和9（2027）年度～令和10（2028）年度
 - ・ 実行期間：令和11（2029）年度～令和20（2038）年度
- ※基本計画の検討結果と整合性をとるために基本方針を修正することもある

○仕様：A4用紙16枚程度（その他、資料編を策定）

○内容：地域づくり、関係づくり、健康づくり、人づくりの
基本方針に基づく具体的内容

2025 年度 南部町地域づくりリーダー研修会 実施要領

1. 研修会の目的

本年度の「地域づくりリーダー研修会」は、南部町における地域づくりの中級研修会と位置づけ、地域づくりに興味・関心がある方や地域振興協議会に関わっている方々の、知識や力量をレベルアップすることを目的とする。

2. 研修会で期待される成果

- (1) 的確な地域の現状理解や地域づくりに対する知識・理解の向上
- (2) 地域づくりに必要なコミュニケーション能力やファシリテーション能力の向上
- (3) 研修成果を地域内外に発信するプレゼンテーション能力の向上

3. 研修会の概要

○開催場所：キナルなんぶ（多目的ルームほか）

○開催時間：午後 7 時～午後 8 時 30 分

回	日時	内容	身につける力
第 1 回	9 月 29 日（月）	「地域づくり」ことはじめ ～研修会のガイダンスと地域づくりの一般的な流れ～	チームビルディング・ コミュニケーション力
第 2 回	10 月 27 日（月）	地域課題解決と地域資源活用 ～地域のいいところ探し～	魅力や課題を把握する力 テーマ設定力
第 3 回	12 月 1 日（月）	企画提案のブラッシュアップ ～実行可能な地域づくり計画 ～（中間発表会）	地域のよさを引き出し、 地域の課題を解決することが 企画できる力
第 4 回	1 月 26 日（月）	地域住民への働きかけと地域 内外への情報発信 ～地域を動か かす力を見出す～ （最終発表）	企画した内容が地区単 位・集落単位で実現でき るような仕組みを作ったり 参画を促したりする力
視察	2 月 22 日（日）	南部町外の視察（日帰り） <訪問先> ・鳥取県日南町	視察対象地域の実態を客 観的に捉え、自分の地 区・集落を相対化してみ ることができる力
地域づ くり 大会	3 月 15 日（日）	主旨説明 基調講演 研修成果の発表 ふりかえり	プレゼンテーション力

4. 参加者へのお願い

- (1) 4 回の研修は連続しますので、なるべく全ての会に参加されるようお願いします
- (2) この研修会ではグループを編成し、基本的に同じグループを単位として行います
- (3) 研修時間以外の集まりやリモートミーティングが開催されることも想定されます

2026年1月26日

日南町視察（案）

1. 概要

○目的

- ・地域運営組織（南部町地域振興協議会）の持続可能性について学ぶ
- ・地域資源を生かした地域づくりの手法について学ぶ

○参加者（20名～25名程度を想定）

- ・地域のあり方検討会委員
- ・地域づくりリーダー研修会参加者

○日時

2026年2月22日（日） 9：00～17：00

○移動手段

南部町社会福祉協議会バス借上げ

2. 日程（案）

- 9：00 南部町役場 法勝寺庁舎集合
- 9：15 南部町役場 法勝寺庁舎（発）
- 9：55 日南町役場（着）
- 10：00 日南町視察
説明（町の概要、地域政策の概要、まちづくり協議会の概要・成果・課題等）
意見交換
- 12：00 日南町役場（発）
昼食 ※昼食会場は未定
- 13：50 多里地域振興センター（着）
- 14：00 多里まちづくり協議会視察
説明（地区の概要、まちづくり協議会の概要、まちづくりの成果・課題等）
意見交換
- 16：00 多里地域振興センター（発）
- 17：00 南部町役場（着） 解散

3. その他

参加費は無料です。昼食代は別途実費が必要となります。

2026年1月26日

南部町 第1回地域づくり大会

文責 作野広和

1. 概要

- 日時：2026年3月15日（日） 第1部：13：30～16：10 第2部 16：30～17：30
- 場所：第1部：キナルなんぶ多目的ルーム 第2部：キナルなんぶ第2会議室
- テーマ：南部町地域づくりの第一歩 ～よりよい地域にするために今、私たちができること～

2. スケジュール

■第1部

- 13：30 開会挨拶
- 13：35 基調講演「これからの時代に求められる地域のチカラ」（仮題）
佐伯亮太氏（兵庫県地域再生アドバイザー・佐用町縮充戦略アドバイザー）
- 14：25 休憩
- 14：35 地域づくりリーダー研修会報告
 - 14：35 研修会概要報告
 - 14：40 1班
 - 14：50 2班
 - 15：00 3班
 - 15：10 4班
 - 15：20 5班
 - 15：30 みんなで意見交換 ファシリテーター 作野広和
- 16：00 閉会行事 令和7年度の成果と令和8年度計画
- 16：10 閉会・写真撮影

■第2部

お茶やお菓子を食べながら、みんなで語りあい、交流の輪を広げましょう

「南部町地域のあり方に関する基本方針」

南部町地域ビジョン(案)

～誰もが「幸せな生き方」をデザインできる地域～



「南部町地域ビジョン」とは、将来における地域のあるべき姿を明らかにし、住民、事業所、NPO、行政など、多様な主体が共通の目標に向かい、一体となって進める地域づくりの基本的な考え方を定めたものです。

「人と自然が響き合い ともに創る なんぶ暮らし」の実現に向けて、地域が一体となり、地域資源の活用や地域課題を解決し、持続可能な地域の構築を目指します。

令和8年(2026)年3月

鳥取県南部町

1 南部町の魅力と課題

(1)南部町の魅力

南部町には、多くの魅力がありますが、ここでは以下の通り4つのカテゴリで整理します。

(1)地域と一体となった学校教育・社会教育と生涯活躍のまち

- ・コミュニティ・スクール, まち未来科, ミカエルセミナー, 生涯活躍のまちづくりなど

(2)地域を愛する住民と地域づくりを担う多様な主体

- ・地域振興協議会, NPO法人なんぶ里山デザイン機構, JOCA南部, スポnetなんぶ, SANチャンネル, 高校生サークル, 新☆青年団など

(3)悠久の時を経て里人が紡いできた里地里山

- ・重要里地里山, 農業(稲作, 果樹など), 生物多様性, 伝統文化・行事など

(4)地域で安心して暮らせる医療福祉環境

- ・西伯病院, ゆうらく, しあわせ, いくらの郷, まちの保健室, あいのわ銀行など

(2)南部町の課題

南部町には、魅力とともに課題も多く存在しています。以下の4つのカテゴリで整理します。

(1)育成された人材の地域における活躍

- ・地域を維持するために子ども・若者の参画や, 高齢者が有する知恵や技術の伝承など

(2)人口減少と少子化・高齢化による地域コミュニティの維持

- ・住民相互のコミュニケーション不足, 困難な地域コミュニティの維持, 高齢者単身・夫婦世帯の増加, 地域での見守り活動などの負担増加など

(3)地域産業の振興や里地里山の保全

- ・農業生産の担い手不足・後継者育成, 里地里山を保全する人の減少など

(4)地域医療・地域福祉の維持

- ・地域包括ケアシステム継続への不安, 地域福祉の担い手不足など

2 地域が向かうべき方向性

南部町には、多くの魅力がある一方で、課題もあります。これからも、南部町で住んだり、関わったりする人々が幸せに過ごしていくために、地域が向かうべき方向性を以下のように整理します。

■ミッション:求められる地域像

地域の魅力を活かし、誰もが「幸せな生き方」をデザインできる地域

「ミッション」とは、最終的に南部町に求められる地域像のことを示します。

地域の実態を前向きに捉え、明るい未来を切り拓くためには、地域の魅力を活かすことが必要です。そして、時代や社会の変化を柔軟に受け止めるためには、一人ひとりが「幸せな生き方」の「ものさし」を作る必要があります。南部町では、「幸せな生き方」の「ものさし」を作ることを「デザイン」と称します。

■ビジョン:地域のあるべき姿

- (1)子ども・若者を中心に据えた子育てしやすく学び続けられる地域
- (2)コミュニケーションの深化による誰もが情報を共有しあえる地域
- (3)多様な主体の参画により農業生産が継続し里地里山が保全できる地域
- (4)地域ぐるみで住民の健康を維持し、誰もが生涯活躍できる地域

「ビジョン」とは、「ミッション」を実現するために、地域のあるべき姿を示します。

南部町では、子どもや若者を中心に据えた地域となることを目指すために、**学び続けられる地域**を目指します(ビジョン1)。また、地域住民や南部町に関わる人々が相互にコミュニケーションを深め、活発に行われている地域活動を相互に認めあえるよう、**情報を共有しあえる地域**を目指します(ビジョン2)。南部町の基幹産業である農業を維持することで、**里地里山景観が保全できる地域**を目指します(ビジョン3)。1~3のビジョンを実現するためには、地域住民が常に健康であり、地域づくりに積極的な関与を続ける**生涯活躍できる地域**を目指します(ビジョン4)。

■バリュー:基本方針

(1)人づくり

コミュニティ・スクールを基盤とし、子どもも大人も育つ地域

(2)地域づくり

集落と地域振興協議会の役割分担とネットワーク型コミュニティによる地域づくり

(3)関係づくり

地域住民, 行政, 関係人口(他出子+ふるさと住民等)の三者協働の関係構築

(4)健康づくり

保健・医療・福祉の有機的な連携による南部町版地域包括ケアシステムの継続

「バリュー」とは、「ミッション」を実現するための、基本方針を示します。ここに示された(1)～(4)の基本方針は、南部町の魅力と課題の整理に基づいた内容になっています。(1)人づくりはビジョン(1)に対応し、子ども・若者のみならず、大人も含めて学び続ける人を育てることを基本方針とします。(2)地域づくりはビジョン(2)に対応し、情報を共有しあえる地域を構築していくことを基本方針とします。(3)関係づくりはビジョン(3)に対応し、多様な主体の参画することにより実現することを基本方針とします。(4)健康づくりはビジョン(4)に対応し、誰もが生涯活躍できるための基本方針とします。

■ターム:計画期間

令和11年度(2029年度)～令和20年度(2038年度) 第3次総合計画の期間

前期:令和11年度(2029年度)～令和15年度(2033年度) 5年間

後期:令和16年度(2034年度)～令和20年度(2038年度) 5年間

本ビジョンは、「南部町地域のあり方に関する基本方針」として位置づけられ、令和7年度に策定されました。これに基づき、令和8年度は「南部町における地域のあり方に関する基本計画」を策定する予定です。その後、令和9年度～10年度にかけて「第3次総合計画」が策定される予定です。そのため、令和9(2027)年度～令和10(2028)年度の2年間は「準備期間」と定めます。また、「第3次総合計画」の検討過程で、本ビジョンと齟齬が生じた場合には、本ビジョンの内容を見直します。

なお、「南部町における地域のあり方に関する基本計画」は、前期5年が終了した時点で内容の見直しを行い、後期5年の計画を改めて策定します。

3 地域の持続に向けたアクションの方向性

(1)子ども・若者を中心に据えた子育てしやすく学び続けられる地域【人づくり】

- ①コミュニティ・スクールとスクール・コミュニティの循環による学校教育・社会教育の充実
- ②若者を含めた多様な主体による地域活動への参画
- ③図書館等の社会教育施設の整備による学習環境の充実
- ④特徴のある教育を通じたUターン・Iターンの促進

(2)コミュニケーションの深化による誰もが情報を共有しあえる地域【地域づくり】

- ①地域づくりを統括する地域戦略会議の設置と地域づくり活動の継続性担保
- ②地域課題の解決による雇用創出と経済活動の深化
- ③ICTを活用したコミュニケーションの深化と誰もが情報を共有しあえる仕組みづくり
- ④地域振興協議会と集落のあり方の再検討による持続可能な地域組織づくり

(3)多様な主体の参画により農業生産が継続し里地里山が保全された地域【関係づくり】

- ①Uターン促進や通い農業による小規模農家の維持
- ②多様な主体の就農を促進する農業版ハローワークの設立
- ③「ふるさと住民制度」の導入による関係人口の参画機会の創出
- ④里地里山の観光利用による収入確保とマネジメント

(4)地域ぐるみで住民の健康を維持し、誰もが生涯活躍できる地域【健康づくり】

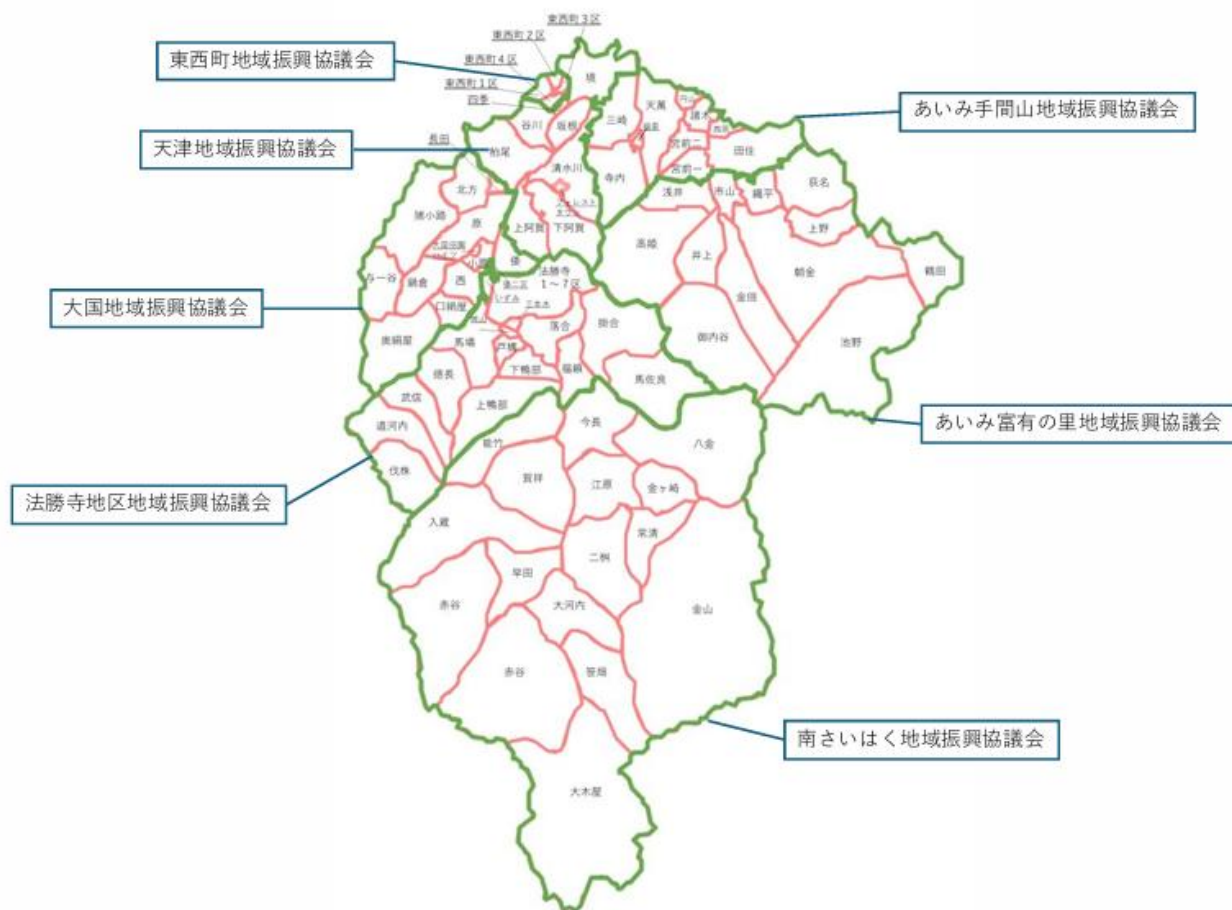
- ①デジタル情報による健康データの収集と保健活動の推進
- ②健康ポイントの実施展開による住民の健康づくり
- ③「みんなの食堂」(子ども食堂)の普及と生涯活躍人材の発掘
- ④地域包括ケアシステムの持続

4 求められる環境整備

- (1)情報共有と発信を担う人や組織の整備
- (2)地域づくりを担う人材の育成
- (3)活動を支援する資金の確保

5 関係資料(ダミー)

(1)南部町の地域振興協議会と集落の分布



(2)「南部町地域ビジョン(案)」の基本方針

